



水車小屋横の鯉のぼり

**新年度が始まり2週間**

＜園長＞

本年度がスタートし、2週間が経ちました。美しい里山の新緑に抱かれながら、子ども達も新しい環境に少しずつ慣れ、徐々に活動の範囲を広げています。

年中・年長の進級児さんは、1人1人が「小さな先生」になって、新入園児さんにわからない事を教えてあげたりするなど、とても頼もしい様子が見られます。

クラス内の関係が作られていくと同時に、徐々に他のクラスや他の学年など、幼稚園の皆が助け合い、協力し合い、仲良く過ごしていけるようになっていきます。コロナ禍で制限がある中だからこそ、「互いを思いやる気持ち」が園全体に広がっていく事を願っています。



入園式



進級式

**緊急事態宣言をふまへ**

新型コロナウイルスの感染者数が増加し、変異株の子どもへの感染が危惧される中、東京都でも緊急事態宣言が発令されました。園でもこれまでよりもさらに注意を払い、手洗い、消毒、マスク着用、検温、同居ご家族を含む体調確認などを行ってまいります。お迎えの際も互いに一層のディスタンスをはかり、より速やかにお帰り頂きますようご協力をお願いいたします。

また、この度の遠足のように、保護者の方にご参加頂く行事についても、都度対応を検討してまいります。さらに、行政の指示や地域の感染状況によっては、昨年のような分散登園や臨時休園になる場合もありますので、ご承知置き下さい。

**三歩進んで二歩下がる**

子どもの成長は本当に早いですね。この4月を振り返っても日々の成長に驚かされます。ご家庭では「うちの子は先生のお話を聞いているのかしら？ みんなと一緒に遊んでいるのかしら？」とご不安もあるかもしれませんが、子どもたちは皆本当によく頑張っています。

しかし、できるようになったと思ったら、急に「やりたくない」と言ってみたり、「幼稚園、楽しい」と言っていたと思ったら、急に「行きたくない」と言ってみたりと、お子さんの様子に悩まされる時もあるでしょう。

「三歩進んで二歩下がる」という言葉がありますが、一つ成長することで、また新たな課題が見えてくるものです。その課題を乗り越え、さらに一つ成長していきます。一見、後退しているように見えるかもしれませんが、長い目で見れば着実に



成長しています。その確かな一歩を認め（頑張ってるね！）、励まし（大丈夫！）、褒め（すごい！）、喜んで（嬉しいよ！）あげて下さい。大人もそうですが、人から「認められている」と感じることで、持てる力を存分に発揮することができます。「励ましてもらおう」ことで前を向くことができます。「褒められる」ことでさらに力を発揮することができます。「喜んでもらおう」ことで、成長する喜びを感じることができます。

**ちょっとした配慮で「困り感」解消**

一方、お子さんが何か「困り感」を持っている場合は、そのままにしておいてもなかなか改善しない場合があります。その原因を考え、お子さんに聞いてみたり、観察をしていただくとわかることがあります。園でもそうした「困り感」が見られた時は、保護者の方にお伝えし、対応をお願いする場合があります。ちょっとした工夫や配慮で、できることが増え、園生活が楽しくなります。「幼稚園でできた！」を増やせるよう、ぜひご協力をお願いいたします。

よくみられる事例をいくつかご紹介します。

テラスまでは行くけれど、保育室に入りたがらない。  
 → 上ばきが履きにくそうだったので、履きやすいものに替えたりかかとのひもを付けていただいたら、簡単に履き替えられるようになり、保育室にもスムーズに入れるようになった。



自分の持ち物がどれかわからず、次の活動や遊びへの動きが止まってしまう。  
 → 名前やマークを大きくはっきり書いていただいたら、進んで行動できるようになり、保育者も「ここにあるよ！」とすぐに伝えられるようになった。

特に長靴などは汚れるため、位置によっては名前が見えなくなってしまう。  
 また、「名前シール」は水に濡れてはがれやすいです。  
 お弁当箱の開け方、お箸セットの開け方に慣れていなくて「開けられない！」と困ってしまったり、中身をばらまいてしまう。

→ ご家庭で何度か練習して頂いたら、園で安心して楽しく食べることができるようになった。  
 マスクが緩くてとれてしまう。  
 → ちょうど良いサイズに替えていただいたら、つけられるようになった。

**～学年の様子についてお知らせします～**

**☆年少さん・・・**

新入園のお子さんも園生活に徐々に慣れ始めたことでしょう。しかし、お子さんによっては環境の変化に一生懸命慣れよう、ついていこうと気を張るあまりに、疲れが出たり大泣きをしたり、これまでになくお母様に甘えたりするといった反動が現れてくる時期です。

特に午後保育も始まり、これまでの家庭生活とのギャップに身体も心も少しずつ疲れを感じる頃、帰宅後は心身共に十分に休息を取り、ご家庭の温かな愛情で包んであげて下さい。また、併せて毎日幼稚園に頑張ってるお子さんをほめていただき、5月、いよいよ広がりを見せる園生活に前向きに取り組めるよう励ましてあげて下さい。なお、長いゴールデンウィークには家庭で親御さんの愛情をたっぷり受け、明けには「家にいたい、幼稚園に行きたくない」といった声も聞かれるかもしれませんが、4月上旬の様子に戻ってしまうお子さんも多くいらっしゃいます。慌てずにゆっくりと見守っていきたいと思いますので、様子に変化などがありましたらどうぞ担任までお知らせ下さい。



## ☆年長さん・・・

幼稚園生活を通して大きく花開く時期。特に2学期の運動会、3学期の生活発表会のように、クラスの皆で力を合わせて何かを成し遂げるといった協同的活動が活発になり、その過程では協調性や思いやりなどを伴った“集団における問題解決能力”が大きく育っていきます。

また、身体能力と並行して「少しのことでへこたれない」精神的な強さ、逞しさ、忍耐力が育ってきます。さらに、自然の変化や生き物等への関心も、感覚的に捉えるだけでなく、科学的な視点から観察したり、探求心を持って調べたり、自分なりに筋道をたてて考えることができるようになります。こうして徐々に小学校へ向けた土壌が形成されていきます。

子どもが伸びようとする可能性を信じ、勇猛果敢にチャレンジする精神を応援しながら、活発な園生活を促してあげたいと思います。



グループ決め

鯉のぼり制作

母の日制作

運動あそび



タヌキの足跡!?

根っこにつかまれ!

渡れるかな?

オタマすくいに夢中

## ☆年中さん・・・

年中は、年少との環境の変化に戸惑いを見せ不安になったり、活動の幅が広がるとともに友達との関係が深まっていく過程で、今までと違った様々なケンカも出てくる時期です。幼稚園生活3年間の中で、最も難しくまた大切な時期であるといっても過言ではありません。しかし、この時期の様々な葛藤が成長の証でもあり、周囲の大人が無理にこども同士の関係を引き離したり、避けてやり過ごすことは、子どもたちにとって何の解決にもなりません。子ども自身が正面から取り組み、頑張っ乗り越えていこうとする姿を見守り、勇気づけ、そっとサポートしていくことが大切と考えます。我々保育者も子ども達の「自分で向き合い、乗り越えようとする力」を信じサポートして参ります。



## ～年長 お米作りスタート「塩水選～種もみまき」～

8ヶ月にわたるお米作りがスタート! コップに卵が浮く程の塩水を入れ、そこに昨年とっておいたお米の「種もみ」を入れます。水に浮いた種もみは使用せず、沈んだ種もみを使用します。次に、種もみを真水につけて数日間芽出しをし、17枚の育苗箱に蒔きました。こうして稲作の地道な作業が続いていきます。



※活動が盛んになると、行事予定表や園外保育のお知らせに載ってなくても、その日の気候や、クラスの活動、興味によって、不定期に園外へ出かけることがあります。教育・保育は「生き物」。日々の「しなやかな保育」が時に子どもの日常をより生き生きとしたものに変えてくれます。もちろん安全面の確認や配慮をした上で行いますので、どうぞご理解ください。 **その他の活動はブログをご覧ください!**